

温室効果ガス排出状況と目標達成状況

基準年度（平成 25 年度）及び令和 4 年度における温室効果ガス排出量と削減率を以下に示す。

令和 4 年度の温室効果ガス排出量と削減率

温室効果ガス	基準年度 排出量	令和 4 年度		令和 12 年度 削減目標※1
		排出量	削減率※1	
エネルギー起源二酸化炭素 (CO ₂)	67,613 t-CO ₂	30,176 t-CO ₂	55 %	51 %
非エネルギー起源二酸化炭素 (CO ₂)	1,243,834 t-CO ₂	1,345,262 t-CO ₂	-	- ※2
一酸化二窒素 (N ₂ O)	47,213 t-CO ₂	41,913 t-CO ₂	-	- ※2
メタン (CH ₄)	58 t-CO ₂	64 t-CO ₂	-	- ※2
ハイドロフルオロカーボン類 (HFC)	47 t-CO ₂	23 t-CO ₂	-	- ※3
六ふつ化硫黄 (SF ₆)	117 t-CO ₂	114 t-CO ₂	-	- ※3
総排出量	1,358,765 t-CO ₂	1,417,552 t-CO ₂	-	- ※2
	自動車以外	1,358,742 t-CO ₂	1,417,528 t-CO ₂	
	自動車	24 t-CO ₂	24 t-CO ₂	

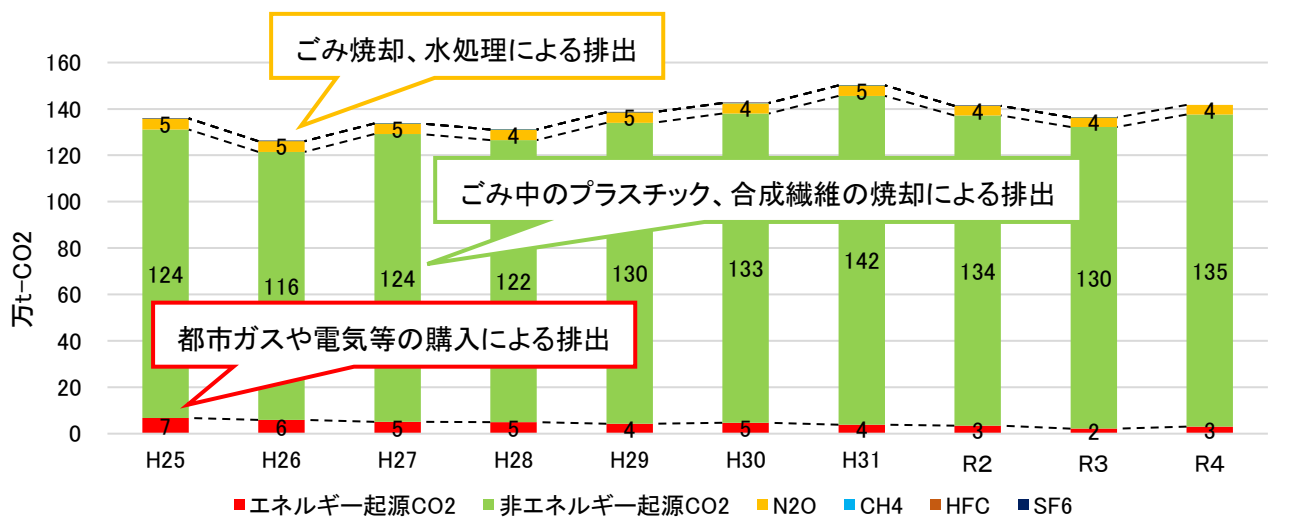
※1 基準年度比の削減率。

※2 ごみの処理量や組成に依存する温室効果ガスであり、清掃一組の取組による削減が難しいため削減目標を設定しない。総排出量についてもその割合が非常に大きいため削減目標を設定しない。

※3 排出割合が非常に小さいため、削減目標を設定しない。

基準年度から令和 4 年度までの温室効果ガス排出量の推移を以下に示す。

大部分を占める非エネルギー起源二酸化炭素は、ごみを焼却した際に発生する温室効果ガスである。排出量削減のためには、ごみの収集と運搬の事業を担う 2 3 区と共にごみ量の削減に取り組む必要がある。



温室効果ガス排出量の推移

【問い合わせ先】

施設管理部技術課技術係

電話 03 (6238) 0745